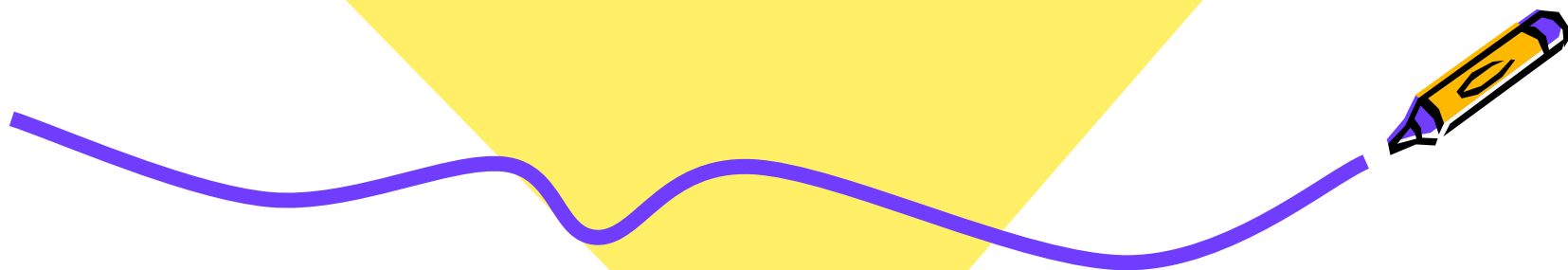


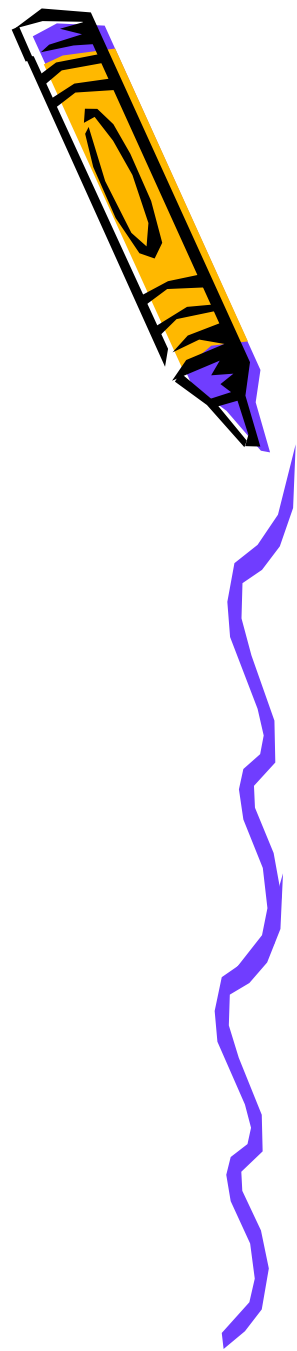


東北地区大学図書館協議会  
平成23年度フレッシュ・パーソン・セミナー

# 大学図書館の役割と課題



八戸大学・八戸短期大学図書館  
司書 小松良重



## ◆ 本日の内容

1. 大学図書館の法的根拠
2. 大学図書館の指針となるもの
3. 大学図書館の役割(任務)
4. 大学図書館の抱える問題点
5. 新たな大学図書館の役割
6. これからの大学図書館の課題



# 1. 大学図書館の法的根拠

## ○国立大学の場合

「国立学校設置法」

(昭和24年5月31日法律第150号)第6条

「国立学校設置法施行規則」

(昭和39年4月1日文部省令第11号)

## ○公立大学の場合

各地方自治体の条例の中で規定

## ○私立大学の場合

「学校教育法施行規則」

(昭和22年5月23日文部省令第11号)

「大学設置基準」 ⇒ **すべての大学に適用**

(昭和31年10月22日文部省令第28号)



# (1) 大学設置基準とは

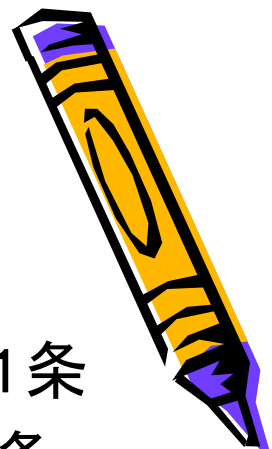
「大学を設置するのに必要な最低の基準」(第1条第2項)であり、「その水準の向上を図る」(第1条第3項)ことを明確に求めている

⇒ 大学図書館の必須条件となる座席数や図書・学術雑誌の冊数・種類数が具体的に定められていた

※時代(社会)の変化により大学を取り巻く環境が大きく変化したことにより見直された

1990年代に「大学改革」が本格的にスタート

⇒ 「大学設置基準」の大綱化(1991年)



## (2) 大学設置基準の大綱化とは

「大学設置基準の一部を改正する省令」  
(平成3年(1991年)文部省令第24号)

「個々の大学が、その教育理念・目的に基づき、  
学術の進展や社会の要請に適切に対応しつつ、  
特色ある教育研究を展開し得るよう、大学設置  
基準の大綱化により制度の弾力化を図る」

⇒ 図書・学術雑誌の冊数・種類数についての  
規定を廃止し、学部の種類や規模などに応じ  
て、必要な資料を系統的に備えるように改正  
された



## 2. 大学図書館の指針となるもの

### その1 計画要項・要綱・基準 等



- 「大学図書館施設計画要項」(文部省管理局教育施設部 1966年3月)、
- 「国立大学図書館改善要項及びその解説」(国立大学図書館改善研究委員会昭和28年1月)、
- 「私立大学図書館改善要綱」(昭和31年私立大学図書館協会)
- 「大学図書館基準」(大学基準協会 昭和27年6月17日 昭和57年5月18日改正)

⇒ 望ましい大学図書館について言及



## その2 審議会の答申・建議・報告等 1

①「大学図書館機能の強化・高度化の推進について」

(平成5年12月16日 学術審議会学術情報資料分科会学術情報部会報告)

②「大学図書館における電子図書館的機能の充実・強化について」(平成8年7月29日 学術審議会建議)

③「学術情報データベースの整備について」  
(平成9年12月17日 学術審議会学術情報資料分科会学術情報部会報告)



## その2 審議会の答申・建議・報告等 2

### ④「情報学研究の推進方策について」

(平成10年1月14日 学術審議会建議)

### ⑤「21世紀の大学像と今後の改革方策について —競争的環境の中で個性が輝く大学—」

(平成10年10月26日 大学審議会答申)

### ⑥学術情報基盤の今後の在り方について(報告)

(平成18年3月23日 科学技術・学術審議会学術分  
科会研究環境基盤部会学術情報基盤作業部会)





「大学図書館基準」から見る

### 3. 大学図書館の機能とその業務

- (1) 大学図書館は、大学の研究・教育に不可欠な図書館資料を効率的に収集・組織・保管し、利用者の研究・教育・学習等のための利用要求に対し、これを効果的に提供することを主要な機能とする。この機能を発揮するためには、(2)～(6)の諸点について格段の配慮をするとともに、その業務の改善を図るための研究・開発機能を併せもたなければならない。

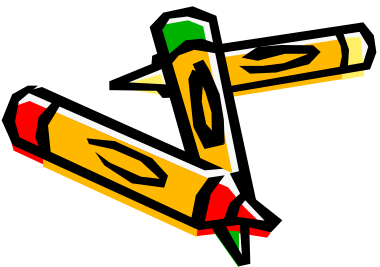


# 役割を果たすために行う業務 その1

## ◆図書館の業務計画・運営企画・予算計画

(2) 大学図書館は、現在および将来の研究計画を促進するのに十分な規模・内容であり、かつ学習・教育上の要求に応じる調和のとれた蔵書を計画的に構築するために、一定の方針のもとに図書館資料の脱漏のない収集に努めなければならない。

- ⇒
- ①適切な学習・研究環境・設備の提供
  - ②適切な蔵書構成の構築
  - ③運営計画・集書方針の策定
  - ④適切な運営経費・資料費の確保



## 役割を果たすために行う業務 その2

### ◆資料収集・資料選定



(3) 図書館資料の選択にあたっては、収集体制を確立し、利用者の積極的な協力を得るとともに、その要望をきく方途を講じなければならない。

- ⇒
- ①選書方針・ガイドライン・要綱の策定
  - ②図書選定組織(委員会等)の確立
  - ③教員へのアンケート
  - ④研究費購入図書の窓口
  - ⑤学生からのリクエスト
  - ⑥日々のカウンター業務で利用者のニーズを把握
  - ⑦シラバスの把握(テキスト・参考文献・指定図書)



## 役割を果たすために行う業務 その3

### ◆資料の組織化・目録整備



(4) 図書館資料の多面的かつ迅速な検索を可能にするために, 全国的もしくは国際的な書誌事業の成果を活用し, 整理業務の能率化・標準化を図るとともに, 迅速・的確な処理に努めなければならない。

⇒ ①OPACや各種書誌・索引の整備

②NACISIS-CAT/ILLの整備

(大学図書館所蔵目録データベース)



# 役割を果たすために行う業務 その4

## ◆利用者サービス・レファレンス・利用指導



(5) 図書館資料の利用が効果的に行われるよう  
閲覧・貸出し業務のほか、参考調査業務、  
その他のサービス業務によって、個人ならびに  
グループの利用者からの要求に迅速・的確に  
応じなければならない。

⇒ 利用者サービスのために大学図書館の  
職員がなすべき業務は・・・

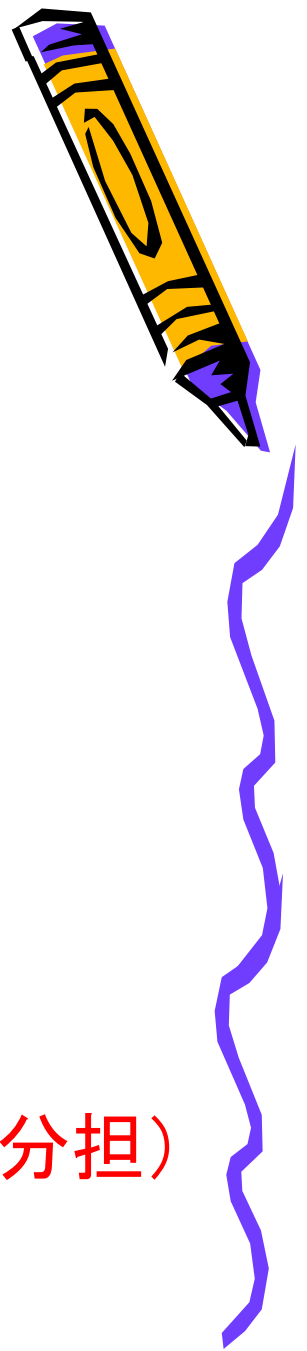


# 「利用者サービス」のために 大学図書館職員がなすべき主な業務

- ①利用案内・OPAC操作マニュアル等の作成
- ②利用指導(リテラシー指導)の実施
- ③パスファインダーの作成・構築
- ④学術データベースの導入・充実
- ⑤教員研究内容・業績等の把握
- ⑥シラバスの把握・理解
- ⑦カリキュラムと蔵書構成の把握

⇒教員との連携・協力が不可欠

他の図書館(員)との相互協力(協働・分担)  
が重要



# 役割を果たすために行う業務 その5

## ◆資料の保存・保管・廃棄

(6) 大学図書館は、絶えず変化しつつある利用者の要求をふまえ、常にその蔵書を適切に維持管理し、かつその利用の機会を最大限に確保しなければならない。

- ⇒
- ①資料の製本・保存・交換・リサイクル・廃棄
  - ②資料の適切な配架(場所・方法)
  - ③利用者への効果的な展示の工夫
  - ④紙から電子化への移行・変換
  - ⑤機関リポジトリの開設
  - ⑥保存スペースの確保



## 4. 大学図書館の抱える問題点

- 「学術情報基盤の今後の在り方について」  
(報告)

(平成18年3月23日 科学技術・学術審議会学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会)

⇒ 現在の大学図書館の問題点と今後のあり方(図書館の目指す方向)について述べられている



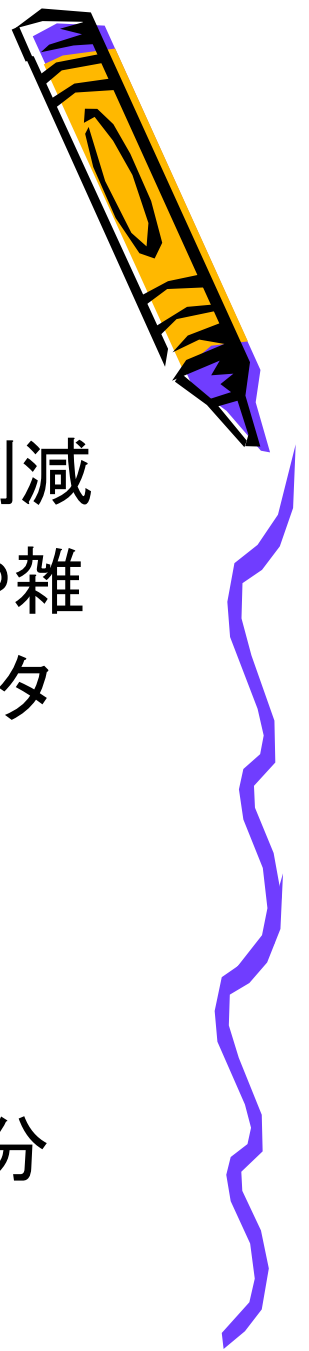




# (1) 報告で指摘されている問題点

1. 大学図書館の財政基盤が不安定
  - ・電子ジャーナルの価格高騰や財政状況の悪化で安定的な投資ができていない
2. 電子化への対応の遅れ
  - ・電子化を進めるも、長所を生かしきっていない
3. 体系的な資料の収集・保存が困難
  - ・基盤的経費の減少、収蔵スペースの狭隘化
  - ・資料保存のための環境が未整備





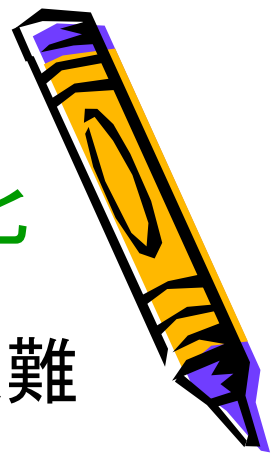
#### 4. 目録所在情報サービスの問題点

- 共同開発・維持意識の薄れや担当者の削減とスキルの低下により書誌レコード重複や雑誌所蔵データ未更新による雑誌目録データの品質低下等

#### 5. 図書館サービスの問題点

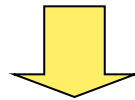
- 司書の専門性が不十分
- 情報リテラシー教育の位置づけが不十分





## (2) 問題の原因と図書館への要求の変化

- ・ 少子化による基盤的経費の削減による財政難
- ・ 少子化による学生の質が変化
- ・ 大学での学び方が変化
- ・ 情報化の進展により学術資料(情報)が変化
- ・ 利用者の学術情報へのアクセス方法が変化



- ・ 大学図書館に求められるサービスが変化
- ・ 図書館職員に求められる専門性がより重視





## 5. 新たな大学図書館の役割

「大学図書館の整備について」(審議のまとめ)

ー 変革する大学にあって

求められる大学図書館像ー

(平成22年12月科学技術・学術審議会 学術分科会  
研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会 )

⇒ これからの大学図書館のあるべき姿について  
まとめられている





# (1) 大学図書館の基本的機能

大学図書館は、大学における学生の学習や大学が行う高等教育及び学術研究活動全般を支える重要な学術情報基盤の役割を有しており、大学の教育研究にとって不可欠な中核を成す総合的な機能を担う機関の一つ

引用：大学図書館の整備について(審議のまとめ)－変革する大学にあって求められる大学図書館像－ 概要より  
(平成22年12月 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会)



## (2) 求められる新たな役割とは

### 1. 学習支援及び教育活動への直接の関与

#### ・学習支援

⇒ラーニング・コモンズ、大学図書館職員等によるレファレンスサービス、学習支援が重要

#### ・教育活動への直接の関与

⇒情報リテラシー教育は、大学図書館が主体となって取り組む、カリキュラム開発や実施を教員と協同して行う、図書館職員が教員を兼任し直接授業を担当することも視野に入れるべき。

また、e-Learningへの貢献が期待される。



## 2. 研究活動に即した支援と知の生産への 貢献

- ⇒ ・学術雑誌、図書等研究を進めるうえで  
必要な情報を確保
- ・教育研究成果の発信を実現し、知的生産物の長期保存などを図るため、機関リポジトリは公開の迅速性を確保





### 3.コレクション構築と適切なナビゲーション

⇒ ・術図書等のコレクション構築における職員の役割強化、コンソーシアム連携による電子ジャーナルの効率的な整備

### 4.他機関・地域等との連携並びに国際対応

⇒ ・学内の多様な組織との連携の他、学外の関連機関との連携や公共図書館との連携、外国の図書館との連携や職員交流







## 6. 大学図書館の新たな課題

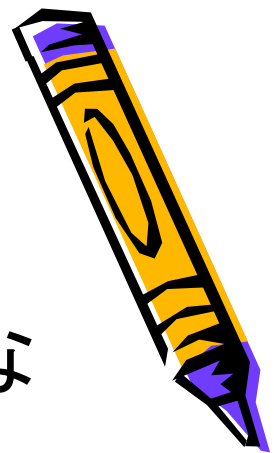
—利用者からの更なる要求(期待)に応じて—

- 運営費と資料費予算の確保
- 電子図書館機能の促進・充実
- 情報リテラシー教育、学習支サービスへの対応
- 書庫スペースの確保
- 人材の確保と育成への取組み

⇒ 新たな課題にどのように取り組むのか

**教員との連携・協力、図書館職員の  
協同が重要**





## ◆ さいごに

大学図書館の役割を果たすために必要な能力・技能は？

- ① コミュニケーション力
- ② デザイン力
- ③ マネジメント力
- ④ リテラシー能力
- ⑤ 語学力
- ⑥ 行動力
- ⑦ 司書の専門知識
- ⑧ 指導力
- ⑨ ホスピタリティ精神
- ⑩ その他いろいろ

⇒ これからの高度な図書館業務をこなすためには、様々なスキルを磨こう！



# 参考文献一覧

- ・ 文部科学省HP 大学審議会答申・報告一概要一  
([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo4/gijiroku/03052801/003/001.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/gijiroku/03052801/003/001.htm))
- ・ 国立大学図書館の管理・運営に関するガイドブック(平成12年4月 国立大学図書館協議会図書館組織・機構特別委員会)
- ・ 「学術情報基盤の今後の在り方について」(報告)  
(平成18年3月23日 科学技術・学術審議会学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会)
- ・ 大学図書館の整備について(審議のまとめ)ー変革する大学にあって求められる大学図書館像ー 概要(平成22年12月 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会)
- ・ 図書館法規基準総覧(武田英治責任編者 日本図書館協会, 1992)

